

使用済みペットボトルのリサイクル率向上を推進 ～全国清涼飲料連合会ボトル to ボトル東京プロジェクトに協力～

センコー(株)は、清涼飲料業界の業界団体である一般社団法人 全国清涼飲料連合会(会長:米女 太一、以下「全清飲」)と東京都が共同で取り組む「ボトル to ボトル東京プロジェクト」に賛同し、東京都内の当社事業所でリサイクルステーション設置やペットボトル排出時の分別を推進しています。



物流センターに設置したリサイクルステーション

「ボトル to ボトル東京プロジェクト」は、2018年に全清飲が「清涼飲料業界のプラスチック資源循環宣言」としてペットボトルの100%有効利用を目指すことを発表し、2020年8月に東京都と共にキックオフしたプロジェクトです。

2021年2月にスタートした実証実験では、当社は、東京都江東区にあるセンコーグループホールディングス(株)本社ビルおよび東京都大田区にある当社の物流センターにおいて、全清飲がデザインしたリサイクルステーションを2週間の間設置しました。

このリサイクルステーションは、ペットボトル、ラベル、キャップを分別して捨てられる3分別という仕組みになっており、ペットボトルのリサイクル率向上につながるとして従業員の利用促進を図っています。

実証実験後のアンケート結果を受け、物流センターでは、11月1日から1月31日までの3カ月間、リサイクルステーションの設置場所見直しおよび啓発メッセージの設置を行うなどの実証実験を新たにスタートさせました。物流センターは、社外のドライバーも配送で頻繁に出入りするため、社内外のドライバー全体の意識改革にも取り組んでいます。

当社では、これからもさまざまな環境保護に関する活動に積極的に取り組み、循環型社会への貢献と環境負荷低減を目指していきます。